

気膀胱下手術で根治し得た単一腎盂尿管に伴う異所性尿管の 1 例

西尾 英紀（名古屋市立大学大学院医学研究科 小児泌尿器科学分野）



この度は、大変栄誉ある学会賞を頂きまして、誠にありがとうございます。

当科では小児に対して低侵襲の手術、とくに腹腔鏡手術・ロボット支援手術の開発と普及に努めて参りました。術前の画像診断は私の発表はこのような低侵襲手術を行うにあたり非常に有用で不可欠な情報を与えてくれます。私たちは当院の小児科、放射線科の先生方とのカンファランスを定期的に行って、術前の患児の診断を確実にし、さらに体内の状況を手に取るように把握できる段階になるまで意見効果を繰り返すようにしています。

本症例に対する手術治療は、金子会長が掲げられた学会テーマ「小児泌尿器におけるオーダーメイド医療」をささやかながら達成できたのではないかと考えております。実際の手術室では林先生から厳しいながらも温かい激励を受け、水野先生に懇切丁寧に指導を受けています。腹腔鏡手術に際しては医局でドライボックスを使って、シミュレーションを行って安全で有効な治療が行えるよう努力しておりますが、まだまだ未熟で目指す目標まで程遠い道のりだと感じています。今後も研鑽を積んでまいりたいと存じます。今後ともご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。